

ディプロマ・ポリシー対応リスト（不動産学部不動産学科2019～2024年度入学生）

不動産学部不動産学科ディプロマ・ポリシー

不動産学科では、次の要件を満たした者に学士（不動産学）の学位を授与する。

1 不動産学を構成する法学、経済学、経営学、工学について、基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、不動産学の論考に必要な以下の知識が身についている。

- ① 私法、公法の全体像を把握するとともに、不動産に関連が深い法律知識が理解できる。
- ② マクロ経済学、ミクロ経済学の全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い会計知識が理解できる。
- ③ 建築、都市の構成について全体像を把握することができる。

2 不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力が身についている。

3 不動産にかかる開発・流通・金融・経営・管理などをカバーするビジネス、ファイナンス、または、デザインについて、その仕組みがわかるとともに、これを適切に行うことができる。

- ① 不動産のビジネスにかかる不動産取引、不動産事業経営、不動産企業経営、不動産管理を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。
- ② 不動産のファイナンスにかかる不動産市場分析、不動産価格評価、不動産金融、不動産投資、不動産戦略を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。
- ③ 不動産の資産価値の創造にかかる不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。

授業科目の名称	単位数	開講年次	ビジネスコース ディプロマ・ポリシー	ファイナンスコース ディプロマ・ポリシー	デザインコース ディプロマ・ポリシー
不動産学基礎演習	4	1	1	1	1
財産法の基礎	2	1	1	1	1
ミクロ経済学	2	1	1	1	1
都市計画の基礎	2	1	1	1	1
建築一般構造論	2	1	1	1	1
不動産学のための数学と統計	2	2	1	1	1
不動産学卒業演習	4	4	3①	3②	3③
不動産取引演習A	4	1	2	2	2
不動産取引演習B	4	1	2	2	2
不動産取引演習C	4	2	2	2	2
不動産法入門	2	1	1	1	1
不動産公法	2	1	1	1	1
Basic English for Real Estate Business	2	3	3①	3②	3③
Advanced English for Real Estate Business	2	3	3①	3②	3③
不動産学研究	4	3	3①	3②	3③
担保物権法	2	2	1	1	1
債権法	4	2	1	1	1
マクロ経済学	2	2	1	1	1
土地と住宅の経済学	2	2	1	1	1
会計学の基礎	2	2	1	1	1
経営分析	2	2	1	1	1
都市計画	2	2	1	1	1
測量と地図	2	2	1	1	1
地籍と不動産登記	2	2	1	1	1
不動産情報処理演習	2	2	1	1	1
ハウジング論	2	2	3①	3②	3③
物権法	2	2	1	1	1
都市と建築の基本法	2	2	2	2	2
借地借家法・区分所有法	2	3	3①	3②	3③
開発行政法	2	3	3①	3②	3③
不動産政策史	2	2	3①	3②	3③
会社法	2	3	3①	3②	3③
家族法	2	3	3①	3②	3③
不動産トラブルと法	2	3	3①	3②	3③
不動産金融法・不動産税法	2	3	3①	3②	3③

ディプロマ・ポリシー対応リスト（不動産学部不動産学科2019～2024年度入学生）

不動産学部不動産学科ディプロマ・ポリシー

不動産学科では、次の要件を満たした者に学士（不動産学）の学位を授与する。

1 不動産学を構成する法学、経済学、経営学、工学について、基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、不動産学の論考に必要な以下の知識が身についている。

- ① 私法、公法の全体像を把握するとともに、不動産に関連が深い法律知識が理解できる。
- ② マクロ経済学、ミクロ経済学の全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い会計知識が理解できる。
- ③ 建築、都市の構成について全体像を把握することができる。

2 不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力が身についている。

3 不動産にかかる開発・流通・金融・経営・管理などをカバーするビジネス、ファイナンス、または、デザインについて、その仕組みがわかるとともに、これを適切に行うことができる。

- ① 不動産のビジネスにかかる不動産取引、不動産事業経営、不動産企業経営、不動産管理を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。
- ② 不動産のファイナンスにかかる不動産市場分析、不動産価格評価、不動産金融、不動産投資、不動産戦略を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。
- ③ 不動産の資産価値の創造にかかる不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。

授業科目の名称	単位数	開講年次	ビジネスコース ディプロマ・ポリシー	ファイナンスコース ディプロマ・ポリシー	デザインコース ディプロマ・ポリシー
環境法	2	3	3①	3②	3③
都市と環境の経済学	2	3	3①	3②	3③
計量経済学	2	3	3①	3②	3③
不動産金融論	4	3	3①	3②	3③
不動産鑑定評価論	4	3	3①	3②	3③
不動産会計財務論	2	3	3①	3②	3③
不動産ファイナンス	4	3	3①	3②	3③
法と政策の経済学	2	3	3①	3②	3③
不動産経営戦略	2	3	3①	3②	3③
集合住宅管理論	2	3	3①	3②	3③
不動産経営計画	2	3	3①	3②	3③
まちづくり演習	4	3	3①	3②	3③
不動産管理演習	4	3	3①	3②	3③
都市開発と社会基盤	2	3	3①	3②	3③
都市環境と防災	2	3	3①	3②	3③
デザインの基礎演習	4	2	3①	3②	3③
建築計画	2	3	3①	3②	3③
建築史	2	2	3①	3②	3③
設計製図A	2	3	3①	3②	3③
建築CAD演習	2	3	3①	3②	3③
住宅計画	2	2	3①	3②	3③
建築環境計画	2	3	3①	3②	3③
建築材料学	2	3	3①	3②	3③
建築構造計画	2	3	3①	3②	3③
住宅地計画実習	2	2	3①	3②	3③
インテリアデザイン演習	2	3	3①	3②	3③
建築環境デザイン	2	3	3①	3②	3③
建築設備	2	3	3①	3②	3③
材料学実験	2	3	3①	3②	3③
構造力学Ⅰ	2	3	3①	3②	3③
設計製図B	2	4	3①	3②	3③
建築生産	2	4	3①	3②	3③
構造力学Ⅱ	2	3	3①	3②	3③
不動産数理	2	2	3①	3②	3③
地理情報システム	4	3	3①	3②	3③

ディプロマ・ポリシー対応リスト（不動産学部不動産学科2019～2024年度入学生）

不動産学部不動産学科ディプロマ・ポリシー					
<p>不動産学科では、次の要件を満たした者に学士（不動産学）の学位を授与する。</p> <p>1 不動産学を構成する法学、経済学、経営学、工学について、基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、不動産学の論者に必要な以下の知識が身についている。</p> <p>① 私法、公法の全体像を把握するとともに、不動産に関連が深い法律知識が理解できる。</p> <p>② マクロ経済学、ミクロ経済学の全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い会計知識が理解できる。</p> <p>③ 建築、都市の構成について全体像を把握することができる。</p> <p>2 不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力が身についている。</p> <p>3 不動産にかかる開発・流通・金融・経営・管理などをカバーするビジネス、ファイナンス、または、デザインについて、その仕組みがわかるとともに、これを適切に行うことができる。</p> <p>① 不動産のビジネスにかかる不動産取引、不動産事業経営、不動産企業経営、不動産管理を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。</p> <p>② 不動産のファイナンスにかかる不動産市場分析、不動産価格評価、不動産金融、不動産投資、不動産戦略を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。</p> <p>③ 不動産の資産価値の創造にかかる不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能が身についている。</p>					
授業科目の名称	単位数	開講年次	ビジネスコース ディプロマ・ポリシー	ファイナンスコース ディプロマ・ポリシー	デザインコース ディプロマ・ポリシー
不動産キャリアデザイン	2	3	3①	3②	3③
海外不動産事情	2	3	3①	3②	3③
卒業論文	6	4	3①	3②	3③
不動産特別講義Ⅰ	2	1	3①	3②	3③
不動産特別講義Ⅱ	2	1	3①	3②	3③
不動産特別演習Ⅰ	2	1	3①	3②	3③
不動産特別演習Ⅱ	2	1	3①	3②	3③
不動産特別演習Ⅲ	2	1	3①	3②	3③
不動産特別実習	2	1	3①	3②	3③
不動産実務演習Ⅰ	2	1	3①	3②	3③
不動産実務演習Ⅱ	2	1	3①	3②	3③